

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2297100253
法人名	社会福祉法人 県民厚生会
事業所名	グループホームきさら浜松 (南ホーム)
所在地	静岡県浜松市中央区楊子町218
自己評価作成日	令和8年8月10日
	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先

https://www.karukensaku.shizuoka.jp/22/index.php?section_kedryou_detail_092.html?task_id=09&searchcd=320A1news&search

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	令和8年9月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

基本的に北ホームと姿勢は変わりありませんが、北ホームよりも重度の入居者様が多い為、共用型のデイサービスは行っていないです。重度の方が多い分一人一人への個別ケアは、より手厚く行っています。意思の確認がしづらい方も多い為、表情やちょっとした仕草にも注意を払うようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

緑豊かな環境のなかにあって平屋で落ち着いた趣のある事業所には、「利用者の半生に深い尊敬と共感の心を～」との想いを共有できる職員が働いています。利用者の生活歴を把握して家族のように寄り添いつつ、自身がされたら嬉しい事を考えながら、利用者本人の自立支援を使命として「センター方式」を長年取り込み、更には「自立支援委員」を配置、また「人生会議手帳」の活用も始めています。例えば、お金を自身で持ち、移動スーパードirect購入物をする人は3名いることが日常の取組を裏打ちしています

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	項目	取り組みの成果		項目	取り組みの成果	
		↓該当するものに○印	↓該当するものに○印		↓該当するものに○印	↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地域の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見えて、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見えて、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実践状況	実践状況
I. 理念に基づく運営				
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念は誰もが見える所に掲示されています。その意義を職員全員で共有し、入居者様一人一人が笑顔で過ごせるホッとすることが家を目指しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	昨年度は浜松市のかいこTERAKOYA事業に参加し、夏休みの間共働き世帯のお子さんをお預かりしたり、子育て支援や近隣の子ども園のお子さん達との交流、チャレンジボランティアの受け入れ、地域のお祭りへ綿菓子の出店・さらさら祭りの開催など地域の一員として日常的に交流しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	昨年度はグループホームを開放して、地域の方から頂いた夏みかんを使ってマーマレード作りを行い、地域の方々にも参加頂き入居者様とも交流してもらえ、グループホームの生活の様子を通じて、認知症の人の理解や支援の方法を発信していきました。	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年度より入居者様にも参加頂き、2ヶ月に1度定期的に開催しています。入居者様の普段の様子や行事、事業所として取り組んでいる業務改善などを報告するとともに、事故やヒヤリハットの報告や対策、委員の皆様から会議で頂いた意見を活かせるようにしています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	役所の方の運営推進委員会の参加が見送られることも多いですが、議事録をFAX送信で済ますのではなく、直接持ち参しながら日頃の疑問や介護保険のこと等、分からない事(特に加算に関する事など)は随時市の担当者様に連絡してアドバイスを頂いています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員会の設置の他、勉強会では資料配布で留まる事のない様にグループワーク等を行い身体拘束が及ぼす影響を学んでいます。業務の中で、拘束だと感じたことは上司に報告・相談し、委員会にも報告しています。玄関の施錠は日中に時間を決めて開錠しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待については委員会設置の他、何度も勉強や話し合いの場を持ち、不適切だと感じた事を注意しあえる環境が大事である事周知し、虐待の芽チェックリストを毎月実施する等、職員全員虐待が見逃される事がないよう注意を払い、防止に努めています。	

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己評価	外部	項目	外部評価	
			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について詳しく知る機会を持てるようにして関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワーキングや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実践状況	実践状況
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人・ご家族と話し合い、不安な事や希望を聞かせて頂き、どの様にしたらご本人に安心して頂けるか提案する事で、信頼できる関係作りに努めています。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入前から出来るだけご本人・ご家族の要望を聞き、不安なく過ごせるケアプラン作成に繋げ、信頼関係を構築しています。また、共用型デイサービスを始めた事で、入居前の家族等が困っている事、不安な事、要望等の把握もし易い環境が出来ていると思います。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入時、ご本人の発した言葉の真意を考え、本人と家族のニーズに応えられるサービスが提供出来るかを考え、必要であれば他のサービス利用も提案するように努めています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、ご本人を介護される一方の立場におかず、一緒に食事を作ったり、洗濯物を畳んで頂いたり、買い物に出掛けるなど暮らしを共にする者同士の関係を築いています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との関係作りの一環として、日頃の様子を撮影しLINEで共有するなどしている他、ご家族にも誕生会や行事に参加して頂いたり、面会等でご本人とご家族と一緒に過ごせる時間を作り、絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いています。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出・外泊の機会を持ち、ご本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	介護度や周辺症状によりトラブルになりそうな事もありますが、入居者様同士の関係や性格を把握し、職員が関わる事で、入居者様同士の良好な関係作りに努めています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス修了から数年経っても、近隣に住むご家族は今でも古新聞を持ってきて下さったり、これまでの関係性を大切にしています。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話や仕草、表情などから、ご本人の思いに添ったケアが実践できるよう心掛けています。他、自立支援委員が中心となり、センター方式の【私の姿と気持ちシート】等を用いて意向の把握に努めています。また、意思の確認が難しくなる前に【人生会議手帳】なども使用して意思の確認にも努めています。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴の情報提供をいただいている他、ご本人との会話や面会時にご家族から詳しくこれまでの暮らしぶりを聞くことで、一人ひとりの情報把握に努めています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の中で、一人ひとりの仕草や言葉などから、心身状態の把握に努め、生活のペースや出来ることを、その人個人に合わせられるよう、提案・検討事項の用紙を使い、気づいた事や提案事項があれば、職員全員で周知するように努めています。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の課題とケアの在り方をユニット毎に話し合い、生活に活かせるようなプランを提案させて頂き、ご本人・ご家族・担当職員や、必要な関係者と話し合い現状に即した計画を作成しています。			
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケアパレットで記録し必要な事項は各職員が申し送りの項目を確認できるようにして、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しへと繋がっています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来ない理由を考えるのではなく、入居者様がやりたいと感じたことをどうしたら実現できるかを考え、柔軟な視点を持って考えていくようにしています。			

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己評価	外部	項目	外部評価	
			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日常生活に過ごせるよう、地域の祭りへの参加などで地域の方々と交流を深めたり、ボランティアさんの演奏会や傾聴ボランティアさんの受け入れ、ご家族や知人の面会など、協力を得られる社会資源との関係を常に築いています。	
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	ご本人及びご家族等の希望をもとに、かかりつけ医を決定し、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、月2回の往診の他、常に適切な医療を受けられるよう支援しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝え、相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	訪問看護と契約し、24時間体制で連絡が取れるようになっていて、急ぐ場合などは他事業所の看護師に相談出来るようになっています。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院する事態が発生した際は、出来るだけ早期に情報収集し、本人・家族の思いを大切にしながら、早めの退院を相談するように病院関係者との関係づくりにも努めています。	
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化指針や見取りに関する指針について説明する他、状態の変化に合わせて、ご家族と話し合いを行い、事業所で出来る事と出来ない事を十分に説明しながら、グループホームらしい温かみのあるケアを提供するよう取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命処置の訓練やAEDの使用方法を学び、入居者様の急変や事故発生時に備えて、マニュアル・傷病者カードを作成し、緊急時に誰もが対応できる工夫をしています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間の防災訓練の計画を立て、様々な想定による防災訓練を行っています。訓練には入居者様にも参加して頂き消火訓練などを行ったりして、地域の方とお互い協力し合える関係を築けるよう努めています。	

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の過ごされてきた人生を大切に、その方の思いを尊重し、誇りやプライバシーが最大限守られるように入居者様の目線で物事を考えた声掛けを行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、やりたいことや行きたいところ、食べたいものなど、ご本人の思いや希望を聞き、出来るだけ希望に添えるように努めています。自己決定が難しい方も生活歴や質問を使い分けることで、出来る限り希望の表出が出来る工夫をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団生活の中にあっても、食事や入浴、その他日常生活全般に於いて業務優先にならないよう心掛け、一人一人のペースに合わせて、やりたい事が出来るよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみやおしゃれが出来るように服を選んでもらったり、化粧を希望する方には化粧をしてもらったりしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、季節を感じられるような食事を提供したり、一人一人の好みに応じた提供の仕方や食器の工夫や声掛けなどその方の持つ力を活かしながら、入居者様と職員が一緒に準備や調理、片付けをしています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確認出来るよう、表を活用しています。一人ひとりの状態や力、習慣に応じて、食事の形態を変えたり、食欲のない方には食べられそうなものを提供したりもします。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人一人の口腔状態やご本人の力に応じた口腔ケアをしています。義歯は清潔が保てるよう毎日洗浄剤を使用し除菌しています。また、デンタルサポートさんによる定期的な往診により、必要な歯科治療が受けられる体制が築かれています。毎月衛生士の方から、口腔衛生に関する助言をいただき職員で共有しています。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己評価	外部評価	項目	外部評価	
			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の力や排泄のパターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立に向け、声掛けや誘導、介助方法についても常に検討し、羞恥心にも気を付けて支援をしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響を理解し、出来るだけ直ぐに下剤に頼ることなく、食物繊維(サシファイバー)を導入したり、水分補給や飲食物の工夫、運動への働きかけ等を行っているます。	
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一定の入浴時間はあるものの、入浴のタイミングは声掛けや手法を工夫し、出来るだけご本人の気持ちに添えるようにしています。また、入浴を楽しめるように、音楽が好きな方には音楽をかけたり、入浴剤を使用してリラクゼーション効果を増したりもしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休憩したり、夜間の就寝時も空調や照明、入床のタイミングはご本人に合わせています。	一人一人の生活習慣やその時々の状況に応じて、休憩したり、夜間の就寝時も空調や照明、入床のタイミングはご本人に合わせています。	
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師さんによる居宅療養管理指導を受け、一人一人が使用している薬の目的や用法や用量について相談・理解するようにしています。また服薬の際には誤薬が無いように、職員同士声を出して名前と服薬内容に間違えが無いように努めています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時や面会の際ご家族から生活歴を聞き、その方の持つ力を活かした日々の役割や嗜好品、楽しみ事など、ケース発表会をする事で、担当職員だけでなく、職員が情報共有し、その人に合った支援が出来るよう努めています。	
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	一人一人のその日の希望にそって、施設の外周散歩などに出かけられるよう努めています。本年度は季節の良い時期にサーカスの観覧やドライブ等を行い、個別外出でご本人の行きたいと所やご家族との外出を楽しめるように支援しています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価	外部	項目	外部評価	
			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している		